

ヤフー、企業や自治体を対象にビッグデータに基づく事業創造や成長、課題解決を支援する データソリューションサービスの提供を開始

～ ヤフーのビッグデータから生活者の本音やトレンドを読み解く調査・分析サービスを提供。
実証実験ではビッグデータを活用した新商品開発で販売数が2.6倍に。 ～

[「ヤフー・データソリューション」サービスページ](#)

ヤフー株式会社（以下、ヤフー）は、ヤフーの多様なサービスから得られるビッグデータを活用し、企業や自治体向けに事業の創造や成長支援、課題解決などにつなげるインサイトを提供するデータソリューションサービス（以下、本サービス）を本日開始しました。本サービスは、ヤフーのビッグデータをブラウザー上でご自身で調査・分析いただけるツール「DS.INSIGHT」と、個々の企業・自治体のご要望に応じて「DS.INSIGHT」ではご提供していないビッグデータも含めた分析結果の提供や、活用支援のためのコンサルティングをご提供する「DS.ANALYSIS」の2種類から提供を開始し、今後ラインアップを増やしていく予定です。



ヤフーは検索やメディア・ECなど多岐にわたるサービスを提供し、たくさんのユーザーにご利用いただいています。そこで蓄積されたユーザーのデータを統計的に分析したビッグデータとAI技術を用いて、ヤフーが提供するさまざまなサービスの改善を続けています。近年は、異なるサービスのビッグデータを横断して分析することで、より大きなサービス改善を見込めることがわかってきました。このようなビッグデータ活用を社外に対しても広げることで、企業や自治体へ新たな価値を創出できると考え、約60の企業・自治体と実証実験を進めてまいりました。その

結果、商品開発にビッグデータを活用いただいた商品は、過去一番売り上げたスカートと比較して初週の販売数は約2.6倍になるなど、多くの成果を得ることができました。この実証実験結果をふまえ、本日正式に本サービスの提供を開始しました。

なお、現在本サービスで顧客企業・自治体へ提供する情報はすべて統計データであり、匿名加工情報を含めパーソナルデータ（※）を提供することはありません。

※パーソナルデータとは、直接的にまたは間接的に個人としてのお客様を識別できる情報を指します。詳しくは[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

<提供サービスの詳細>

【1】ダッシュボードサービス「DS. INSIGHT」

●概要：ヤフーの各種ビッグデータをご自身でブラウザー上で調査・分析いただけるダッシュボードサービスです。生活者の興味関心を可視化する「DS.INSIGHT People」と、エリア特性や人流を可視化する「DS. INSIGHT Place」の2種類から提供を開始します。

●利用料：10万円～（税別）／月 ※ライセンス数により利用料が変動します。

A.生活者の興味関心の可視化（DS. INSIGHT People）

ヤフーのメディア事業のビッグデータなどを元に、生活者の興味関心を可視化する機能です。人気キーワードランキングといった俯瞰的な情報から、特定キーワードの“関連語”“時系列推移”“性年代などの属性分布”といった詳細情報まで、幅広く分析できるツールです。

アンケートを用いた既存の市場調査を行う場合、調査設問の設計者がイメージできる範囲に調査結果が限定されてしまうという課題があります。本ツールでは、調査設問を設計する必要がないため、生活者の顕在化しているニーズだけでなく、潜在的なニーズやトレンドもわかります。また調査実施・集計などの時間がかからないため、リアルタイムにそれらを把握することも可能です。商品・サービスの企画などを支援する市場調査などの利用方法を想定しています。

B.エリア特性・人流の可視化（DS. INSIGHT Place）

ヤフーに蓄積された位置情報データなどを元に、特定エリアにおける生活者の実態や動きをまとめて可視化する機能です。（※）指定したエリアにいる人々の属性・特徴や流入人口の推移、検索傾向などをもとにした地域の方の興味関心、地域・スポット間の人流規模などを把握できるツールです。

エリア特性・人流いずれの情報も、性年代などの属性分布に加え興味関心もひもづけて可視化できるため、ファッションや趣味趣向などの特定テーマで区切った層の分析も可能です。

街づくりやイベント運営、出店計画などを支援するツールとしての利用を想定しています。

※位置情報データを用いたインサイト提供にあたってはプライバシーに十分配慮し、ユーザーの特定が不可能な状態まで統計化しています。

【2】データ分析・事業活用支援コンサルティングサービス「DS.ANALYSIS」

●概要：ツールとしてご提供していないヤフーのビッグデータも含めた分析、および事業への活用支援を行うコンサルティングサービスです。個々のニーズに合わせてさまざまなビッグデータを組み合わせ、データによる課題解決を目指します。

●利用料：都度個別に契約内容や料金をご相談させていただく形です。

なお、導入前に「DS.INSIGHT」をお試しいただける体験スペース「DS.LAB」を、ヤフー紀尾井町オフィス内にて11月5日にオープンします。実際に気になるキーワードを入れて画面を見て

いただくことで、サービス内容をよりご理解いただけます。体験をご希望の方はデータソリューションサービスウェブサイトの「DS.LAB 申し込み」よりお申込みください。

＜実証実験成果（一部）＞

■三越伊勢丹

三越伊勢丹では、ヤフーのビッグデータを活用し、子育て中の女性の服装に関するトレンドや悩みを導き出し、新商品開発につなげました。具体的には、「抱っこひもをするとポケットが使いにくい」「自転車に乗りにくい」といった悩みを解決するロングスカートを開発し、9月25日から販売しています。過去一番売り上げたスカートと比較し初週の販売数は約2.6倍になりました。

■東急不動産

東急不動産では、新規オープン予定の商業施設における売り場づくりにヤフーのビッグデータを活用いただきました。従来、周辺の出店動向や過去の運営経験などから売り場を検討していたところ、ビッグデータに基づいて、トレンドを分析。さらに、たとえば「腕時計ブランドAが好きな人はスポーツブランドBも好きそうだ」といった併売分析を検索ビッグデータをベースに行うことで、実際の売り場づくりに取り入れていく予定です。

■ANAセールス

ANAセールスでは、ヤフーのビッグデータから、3週間先の週次旅客数の予測が可能となりました。ANA関連データと「地名＋ホテル」のようなキーワードの検索数を使った予測を複数のモデルで検証したところ、一部の路線においてベースラインより予測誤差を26％削減することに成功しました。

■京都市／（公社）京都市観光協会

京都市及び（公社）京都市観光協会では、昨年に、紅葉時期の嵐山地域において観光需要を予測し、「観光快適度」の見える化により観光客の分散化を図る実証事業を実施しました。その結果を踏まえ、2019年9月より、ヤフーのビッグデータを活用し、京都市全域の観光快適度を表示する取組を開始。さらに、「祇園・清水エリア」、「嵯峨・嵐山エリア」、「伏見エリア」の3つのエリア内の各観光スポットにおける時間帯別の観光快適度の表示を本日より開始します。

ヤフーは、人々の生活が情報技術によって便利で豊かになるよう、データソリューション事業を通じて、ビッグデータの力を日本中に解き放ち、日本全体のデータドリブン化を後押ししていきます。